

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

特集

公表

まちの話題・出来事

国民年金制度

カメラレポート

南富良野短歌会
学校だより

発信@みなくる

子育て支援
センターだより

カヌー・自転車・マラソンで かなやま湖を満喫（9月5日）

かなやま湖の豊かな自然を満喫してもらおうと、町内で活動するアウトドア関係者や町商工会青年部などの実行委員会が主催する「富良野アドベンチャーフェスティバル in なんぶ・かなやま湖」が開催されました。

カヌー・自転車・マラソンを2人1組でかなやま湖を周回するアドベンチャーレースには、町外から13組26名が参加しました。キャンプ場をスタートした選手の皆さんは、カヌーで鹿越大橋までの往復3.7キロを漕いだ後、自転車に乗り換えて11.8キロを走り、最後にマラソンで林道を11.2キロ駆け抜けゴールしました。参加者全員が完走し、優勝は北広島市から参加した山田夏樹さん・松本文秀さんの組で、タイムは2時間18分31秒でした。

小学生以上の親子を対象に行われたファミリーレースには、10組20名が参加して、キャンプ場内に設けられた、丸太切りや綱渡り、クイズなどに挑戦してポイントを競い、旭川市から参加した松本晃和・小幸さん親子が優勝しました。



中学3年生が 南富良野高校を見学（9月7日）

来春に高校進学を控えた中学3年生に南富良野高校の魅力を紹介しようと、同校で見学・説明会が行われ、南富良野中学校をはじめ富良野沿線市町村の生徒64名が参加しました。

学校紹介では、学習上の特徴である習熟度別学習や類型選択授業などについて担当教諭から説明し、実際に授業を見学しました。最後に在校生（3年生）による学校紹介では、国際交流事業（カナダへの短期留学）や部活動や学校行事、特色ある授業や各種検定の補助制度など生徒の目線からの紹介が行われました。

生徒の皆さんは少し緊張感みでしたが、今後の進路を決める上で、大切な説明会であることから、どの場面でも真剣な眼差しで臨んでいました。



子どもたちが元気に グラウンドを駆け回る（9月5日）

町子ども会育成連絡協議会（永井元勝会長）が主催するスポーツ交流会「第11回キックベースボール大会」が南富良野高等学校グラウンドで行われました。

町内各地区の小中学生93名が参加して、小学生の部と混成の部に分かれ、交流を深めました。

今年は天候に恵まれ、参加した子どもたちは力いっぱいボールを蹴り上げ、元気にグラウンドを駆け回っていました。

○成績

	小学生の部	混成の部
優勝	風の子（幾寅朝日町）	ぼっぼ屋（幾寅朝日町）
準優勝	西町ファイターズ	ぎふ子ども会A（幾寅岐阜）
第3位	西町タイガース （幾寅西町）	落北ファイターズ （落合・北落合）

平成22年国勢調査指導員・調査員に 委嘱状伝達（9月14日）

10月1日を基準に、5年ごとに全国一斉に行う国勢調査の指導員・調査員の41名の皆さんに総務大臣からの委嘱状が池部町長から伝達されました。大切な調査ですので住民皆さんの協力をお願いします。

千里大学生 新得町町民大学生 共に学び交流（8月26日）

本町の千里大学38名と新得町の町民大学寿教室の46名による学習交流会が、今年は保健福祉センターみなくるで行われました。昨年に引き続き2回目になる学習交流会は、講演会による学習と、ゲームを交えた交流が行われ、講師には昨年千里大学大学院生の修学旅行で道南福島町を訪問したことなどが縁となり、福島町の村田駿町長と青函トンネル記念館でボランティアガイドを務めている菊池謹一さんが講師として招かれました。

お二人は「青函トンネル」をキーワードにされ、村田町長からは「福島町の紹介」として町づくりについて、菊池さんからは「青函トンネル完成までの道のり」と題し、トンネル掘削工事に従事した20年間の苦労や日本のトンネル技術の高さなどについて講演され、受講者は真剣に聞き入っていました。



「ふれあい合同園祭」多くの 町民で賑わう（9月4日）

今年で29目を迎えた南富良野大乗会の主催によるからまつ園・こざくら園・なんぶ香房の合同園祭がみなくるで行われました。

昨年は残念ながら中止となった合同園祭でしたが、舞台発表では、上富良野自衛隊曹友会による吹奏楽ではじまり、利用者の皆さんによるハンドベルの披露、職員やミスイクによるバンド演奏や幾寅保育所園児や千里大学生によるヨサコイなどが行われ、利用者の皆さんもステージに加わって踊りを披露するなど楽しいステージを繰り広げていました。

また、会場では、町内外の協力団体による模擬店やバザー、農産物の加工品販売、各種作品の展示販売などが多数催され、詰めかけた多くの町民で賑わっていました。



和太鼓の迫力を体感（8月31日）

町内の小・中学生を対象として、道教育委員会などが主催する北海道巡回小劇場公演がこのほど幾寅小学校体育館で行われました。今年、札幌市の新芸能集団「乱拍子」の皆さんによる和太鼓をはじめ楽しい大道芸や獅子舞などが披露され、和太鼓の迫力と大道芸の面白さなどを堪能しました。

また、第2部としてワークショップが行われ、実際に和太鼓の指導を受けながら叩き、普段触れる機会の少ない日本の伝統芸能を体感し、和太鼓の楽しさを体験していました。



特集

公表

まちの話題・出来事

国民年金制度

カメラレポート

教育委員会通信

こんにちは
保健師です